

市内景気動向調査結果

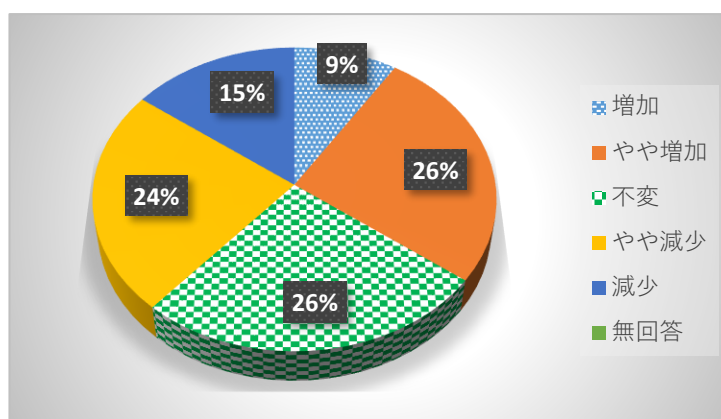
この調査は、第1四半期（令和5年4月から6月）と前年同期間（3ヶ月）の比較を、当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	その他
88	26	9	5	18	24	6

※その他は、回答数が少なかった不動産業、飲食業

1. 売上高はどう変化したか。

増加	8
やや増加	23
不変	23
やや減少	21
減少	13
無回答	0
合計	88

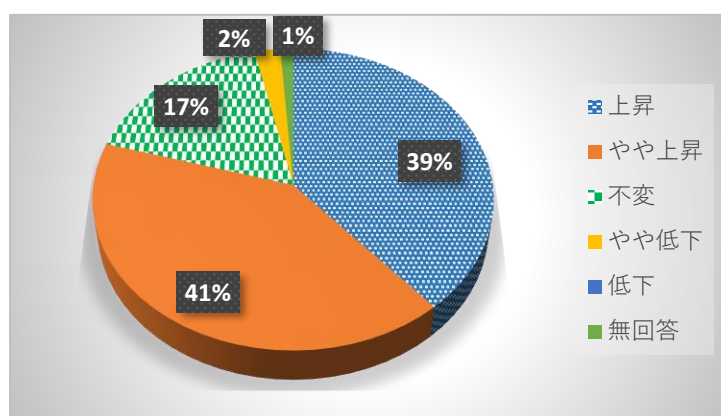


【コメント】

- 増加・やや増加が35.2%、不変が26.1%、やや減少・減少が38.7%であった。前年同期では、増加・やや増加が43.1%、不変が21.6%、やや減少・減少が35.3%であったので、若干減少傾向にある。
- 増加・やや増加の業種別割合は、運輸業が80.0%、製造業が44.4%、サービス業が41.7%、建設業が30.8%、卸小売業が16.7%であった。
- やや減少・減少の業種別割合は、卸小売業が66.7%、建設業が42.3%、製造業が22.2%、サービス業が20.8%、運輸業が20.0%であった。
- 5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行したが、前年同期よりも売上増加の割合が減少。建設業ではボールパーク工事が一段落し売上げ減となった事例もあった。
- 今後、物価上昇による消費の低迷が懸念される。

2. 仕入単価はどう変化したか。

上昇	34
やや上昇	36
不変	15
やや低下	2
低下	0
無回答	1
合計	88



【コメント】

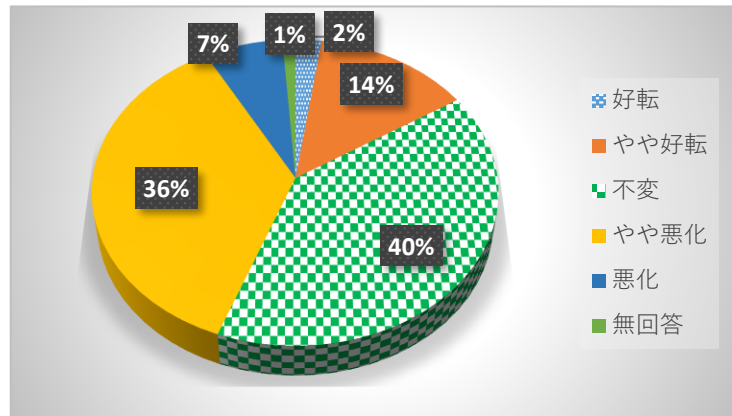
- 上昇・やや上昇が79.5%、不変が17.0%、やや低下・低下が2.3%であった。前年同期では、上昇・やや上昇が80.4%、不変が18.6%、やや減少・減少が

1.0%であった。

- 上昇・やや上昇の業種別割合は、卸小売業が94.4%、製造業が88.9%、建設業が84.6%、サービス業が62.5%、運輸業が60.0%であった。
- 依然として、エネルギー価格の高騰、円安等の要因により物価上昇が続いている。

3. 採算について

好転	2
やや好転	12
不変	35
やや悪化	32
悪化	6
無回答	1
合計	88

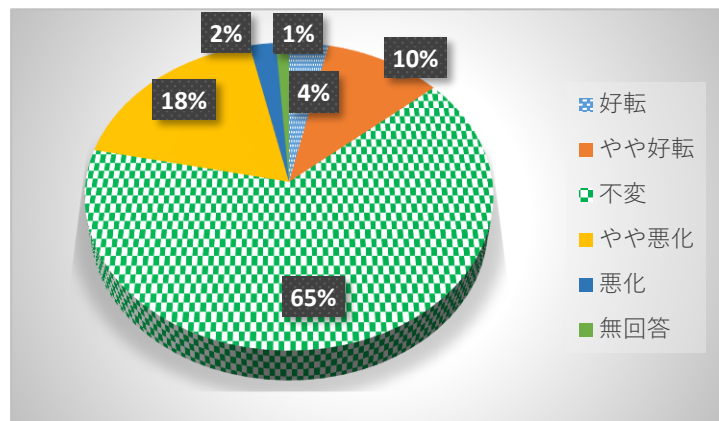


【コメント】

- 好転・やや好転が15.9%、不変が39.8%、やや悪化・悪化が43.2%であった。前年同期の好転・やや好転が20.6%、不変が31.4%、やや悪化・悪化が48.0%であった。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、卸小売業が61.1%、製造業が44.4%、建設業が42.3%、サービス業が37.5%、運輸業が20.0%となっている。
- 仕入単価の上昇が長期間続いており、ますます採算が悪化することが懸念される。

4. 資金繰りについて

好転	3
やや好転	9
不変	57
やや悪化	16
悪化	2
無回答	1
合計	88

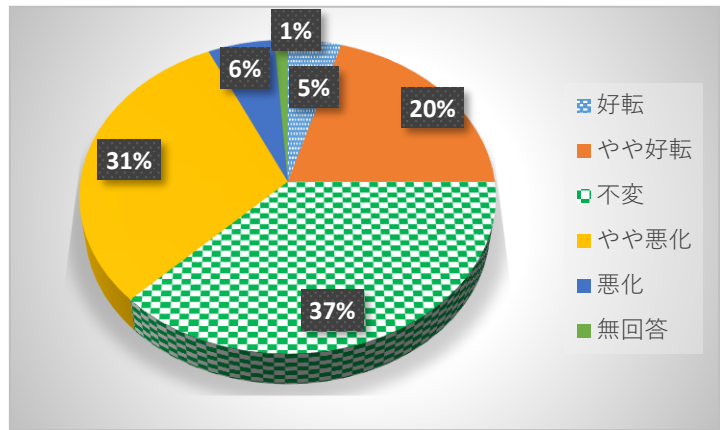


【コメント】

- 好転・やや好転は13.6%、不変が64.8%、やや悪化・悪化が20.5%であった。前年同期の好転・やや好転が14.7%、不変が63.7%、やや悪化・悪化が20.6%であった。
- 資金繰り悪化の割合が高い業種では、卸小売業が33.3%、サービス業が29.2%であった。
- このまま原材料等の価格が上昇（または継続）すれば、しだいに資金繰りが悪化すると予想されるが、現状では資金需要が大きく増えている状況にはない。
- 採算がさらに悪化し、資金不足を借入金で賄うようになれば返済負担が大きくなり、企業経営を圧迫すると予想される。

5. 業況について

好転	4
やや好転	18
不変	33
やや悪化	27
悪化	5
無回答	1
合計	88

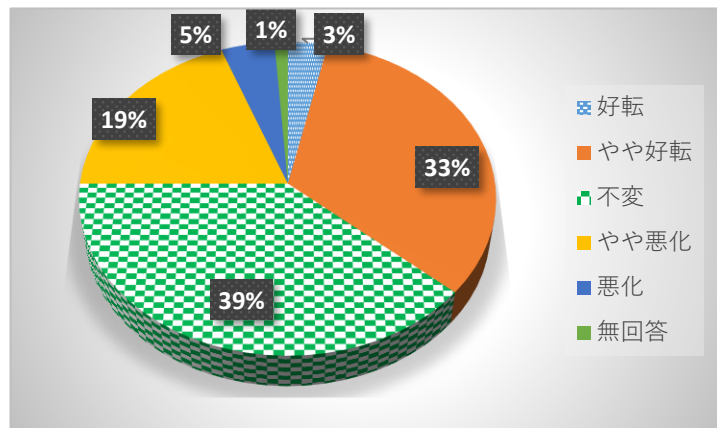


【コメント】

- 好転・やや好転は25.0%、不変が37.5%、やや悪化・悪化が36.4%であった。前年同期は、好転・やや好転が21.6%、不変が48.0%、やや悪化・悪化が30.4%であった。
- 業況悪化の割合が高い業種では、製造業が55.6%、卸小売業が44.4%、建設業が38.5%、サービス業が25.0%、運輸業が20.0%であった。
- 今後も原材料・エネルギー価格の高騰、資材不足、人材（人手）不足により厳しい状況にある。

6. 今後3ヶ月間の業況について

好転	3
やや好転	29
不変	34
やや悪化	17
悪化	4
無回答	1
合計	88



【コメント】

- 好転・やや好転が36.4%、不変が38.6%、やや悪化・悪化が23.9%で、前年同期では、好転・やや好転が27.5%、不変が43.1%、やや悪化・悪化が28.4%であった。
- 今後3ヶ月間の業況予想では、好転・やや好転が前年同期に比べて増加。新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し人流が活発化していることが好材料となっている。
- 長期金利の上昇、賃上げを伴わない物価上昇が続くと消費の低迷を招く恐れがある。

■ 回答事業所からのコメント

【建設業】

- 大きな現場が終わり、新しい現場が始まったばかりで売上げ的には減少することとなりました。数カ月は、このような状態が続くと思われます。
- 波があるので先行きが見えない状況です。
- 工事受注が減少するが数年前に戻るだけ。ただし物価の上昇で、どさくさに紛れて便乗値

上げ感が目に余る。

- 物価の上昇や不動産の売買が減少してきている。例年より解体の依頼が少ない。
- 夏期が繁忙期であるため。
- 7月1日より仕入単価が値上がりしています。(3%~15%)
- まだコロナの後遺症か好転には転じず、長期の受注が無く、短期工事で繋がらず先行きが不安です。小企業はなかなか厳しいのでは無いでしょうか。
- 令和5年度は北広島市住宅リフォーム支援事業が実施されず、集客並びに売上が大きくマイナスに影響しました。
- 期間中、竣工の物件があり売上げ向上となった。資材、機器が高騰しており、原価管理が重要。見積も都度、仕入価格を確認しないと逆ざやになりかねない。
- ボールパークの工事がなくなったため、売上が下がりました。
- やや天候にも影響されたと思われる。
- 去年の同期間に比べて個人のお客様からの受注が多かった。
- 原材料高騰、水道光熱費の値上がりも大きい。工事受注が少ない。8月はお盆休みが長期になると工事量が減り売上げが下がるであろう。

【製造業】

- 希望的観測です。
- 国策、先進的窓リノベ事業補助金制度での物件獲得がでた。
生産量/売上額の現状動き・変化はなく横ばい。原材料費や光熱費関係の更なる高騰、値上げで諸経費、製造原価の増加が続く。医薬品製造のため、国施策により薬価改定が毎年4回実施され影響は大きい。
- 原料、電力費高騰のため。
- 物価高騰。

【運輸業】

- 2024年問題への対応として人員増が必要であり、人件費増が見込まれるため。
- インバウンド客増加によるもの。
- 委託配達をしておりますが、全体的に数量は減少しています。なお配達委託料は急転アップで決定。

【卸小売業】

- 商品の価格改定の影響もある。
- ふるさと祭りやその他のイベントの実施があり、販促商品の売上げが期待できます。また新型コロナウイルスの増加やインフルエンザの流行の兆しがあり、除菌消臭水の需要が増えることが予想されます。
- 仕入価格の上昇、安いお店に対しての対応等。購入する方のお店選びの強度等。ハイブリッド車の燃料の使用ダウン。
- 人の動きが活発になってきている気がします。当店前の道路は夜9時を過ぎると車通りはまばらでしたが、日ハムの試合がある日は日中も夜も交通量が増えています。でも当店には夜たまにトイレを利用する方が来るくらいで、あまり営業効果は無いように思います。
- 電気代高騰のため施行案件が増えた。
- コロナ禍の時は変化はありませんでしたが、その後徐々に毎月の売上げが下降してきています。

【サービス業】

- 建設業相手のため、夏くらいから稼働が上がっている状況です。
- 3月までは当店の駐車場がいっぱいの際は市営西駐車場の回数券を差し上げて利用していたのですが、エスコンで試合やイベントのある日は市営西駐車場が朝のうちから満車になり、車で来店されるお客様にご不便をかけています。
- 弊社教室の認知度が定着してきたことで、新入生の入会が増え、過去最高の生徒数となったことが最大の要因ではありますが、物価高騰分を若干ですが教材費および授業料の改定で価格転嫁させていただいたことが改善に繋がったと考えています。
- 次回予約を積極的にお願いしている。
- コロナ感染が5類移行となり、人流や経済活動の各制限緩和に伴う要因がある。また顧客

への値上げ交渉を継続的に進めており、売上げの底上げ効果も現れてきている。7月以降については、業界的に繁忙期となるが、燃料・光熱費の単価高騰が継続している影響から、経費率がかなり上昇し収支状況が悪化する想定である。

- 各病院および施設などを取引先とし、これまでコロナ感染対応により、一般患者や施設利用者の受け入れが鈍化していたが、感染法上の分類移行後は、その影響度合いが縮小傾向にあり、取り扱い物量が増加している。資材関連の仕入価格やエネルギー価格の高騰による懸念はあるが、価格転嫁に向けた営業計画が順調に推移しており、経常利益の良化に繋がっている。
- 前年同期の比較ができない。（稼働していなかった）
- 売上げの減少。仕入単価の上昇。
- 7月～8月は創業イベントを実施予定なので、コロナ前の賑わいが戻るのではないかと期待している。
- 飲食業界の好転による。
- 最近はコロナの収束も近づいており、経済環境は以前に比較し若干良くなっていると思われるが、当社にとってはスタッフ不足と資金不足が切実です。

【その他】

- プロ野球、北海道日本ハムの新本拠地「エスコンフィールド北海道」が要因と思われる。
- 退去者が入居者より多いため。
- やっとコロナで中止となっていたイベント等が開催されるようになり、少し明るい兆しが見えてきました。
- 不動産業のため、地価が上がりすぎて購入したい方が様子を見ていて具体的な動きがない状況が続いております。今後も動きが良くなるとは思えないため、しばらくは良くない状況が続くと思われま。